

「気象キャスターと科学者が語る地球温暖化と市民との対話」の開催について（報告）

（平成 29 年度 池田市「ふくまる・ひろまる COOL CHOICE」普及啓発事業：環境省補助）

1. 開催趣旨 政府は、2030 年度の温室効果ガスの排出量を 2013 年度比で 26%削減するという目標を掲げ、その達成に向けて政府だけでなく、事業者や国民が一致団結して温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す新しい国民運動「COOL CHOICE」を展開している。

池田市では、地球温暖化問題は次世代につながる長期の取り組み課題であるとの観点から、小学校での環境学習の推進に取り組んでいる。

更に、市民向けとして、現状と内外の最新の情報に触れ、意識と行動の自発的な変化を促すことを目的として本講座を開催した。

2. テーマ 「気象キャスターと科学者が語る地球温暖化と市民との対話」

3. 開催日 2017 年 11 月 4 日（土曜日） 13:30～15:30

4. 開催場所 池田市民文化会館 コンベンションルーム

5. 実施概要 13:30～13:40 開会 倉田薫 池田市市長挨拶

13:40～14:30 トークセッション 1

「2050 年の天気予報」（動画）

～気象キャスターと科学者が語る 30 年後の天気

井田寛子さん（気象キャスター）

江守正多さん（国立研究開発法人国立環境研究所地球環境研究センター 気候変動リスク評価研究室 室長）

- ・ 近年発生している異常気象とその影響による災害事例などを紹介
- ・ 地球温暖化の現状と今後予測される影響を紹介し、日常的に取り組むべき対策や心構え、クールチョイスについての解説を行った。

14:30～15:20 トークセッション 2

「池田市民ができる温暖化対策～30 年後の大人が語る今」

倉田薫 池田市市長

山口真由氏（森のようちえん もりねっこ代表）

大野ちひろ氏、深田真由氏（関西大学学生：池田市出前講座）

井田寛子さん

江守正多さん（進行役）

- ・ 各パネリストからの事例紹介を行い、池田市が取り組む温暖化対策として特徴的な「環境学習」について議論を深めた。
- ・ 市長：資源循環と再生可能エネルギー（太陽光発電）の導入を連携した「いけだモデル」と「池田市地域まると環境教室」の事例紹介
- ・ 山口氏：地域の自然（森）をフィールドした幼児期における環境学習について紹介。
- ・ 大野氏、深田氏：関西大学の学生が実施している小学校での環境出前教室について

て紹介

・井田氏、江守氏によるクールチョイス宣言をパネルにて発表した。

15:20～15:30 会場からの質疑応答

15:30 閉会

6. 参加者数

90 名

(内訳)

所属区分	参加者数
一般市民	55
学生、教育関係	4
事業者	2
各種団体	11
行政	3
地球温暖化防止活動推進員	3
小計	78
講師	6
関係者	6
小計	12
計	90

7. 主催

池田市、

8. その他

・省エネ製品への買換え促進として「しんきゅうさん」の普及啓発チラシを配布、紹介
を行い理解を深めた。

・参加者からクールチョイス活動の賛同を募った。

賛同書数：39 枚

9. 開催状況

[市長挨拶]



[2050 年の天気予報 (動画)]



[江守氏、井田氏]



[クイズ形式での騎乗気象に関する事例紹介]



[市長事例紹介]



[山口氏事例紹介]



[井田氏クールチョイス宣言]



[江守氏クールチョイス宣言]



以上